

議会だより

No.143

☆議長新年のごあいさつ	16
☆12月定例会	17
☆議案等の審議結果	17
☆一般質問	18
☆第18期議員の紹介	22

発行 麻績村議会
編集 議会編集委員会
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

新年のご挨拶



議長 峯村 賢治

新年あけましておめでとうございます。

日頃議会に対しましてご理解とご協力を頂き心より感謝申しあげます。

昨年を振り返りますと、コロナに始まりコロナに終わった一年ではなかったかと思いません。

1月に緊急事態宣言、

8月にもまた緊急事態宣言、そして年末にかけて鎮静化してきたか

と思うと、新たなオミクロン株の世界的流行と、ゴールの見えないマラソンレースのランナーになった気がしています。

村内では成人式・聖高原煙火大会・サマーナイトフェスティバル・



12月定例一般質問

村民運動会・体育祭・月の里収穫祭と村の公的行事が軒並み延期や中止となり、また各地区においても季節のお祭りなどが中止となり、村全体が閉塞感にさいなまれていると感じています。

今年こそはこれらが予定通り開催され、村に活気が戻ることを願うばかりです。そのような中で当村では9月に村議会議員選挙が行われ、無投票という結果となりましたが、新たに18期の村議会議員が選出されました。

12月には新たな議員構成での議会定例会が行われ、本格的に議会活動がスタートしました。各議員においては自らの公約に基づき、議員活動に邁進いたします。

また、同月には村長選が実施され、塚原勝幸氏が当選し、議会も村長も新しい顔に一新されます。継続か刷新かが村長選の大きな争点となりましたが、結果として3期12年にわたる高野村政が村民の皆様信任されたことと思えます。

この中で特筆すべきは、地方交付税や国・県の支出金に依存度が高い当村の一般会計予算の歳入の中で、令和2年度は若者定住住宅や移住定住促進住宅の建設による人口の社会増が、国の地域再生事業費の項目に該当し、地方交付税が6200万円増額となって事業の執行に寄与することとなったことです。

1月16日より塚原村政に移行しますが、高野村政を継承し発展させるとの公約をもとに

副議長	茂木 泰男
議員	飯森 茂孝
〃	塚原 利彦
〃	宮下 朗
〃	飯森 寛志
〃	宮川 秀俊
〃	清水 清

12月定例議会

12月定例会は、村長選挙との兼ね合いから、例年より早く12月3日に開会し、10日までの会期で開催された。

コロナに加えインフルエンザなど感染症が心配される時期であることから、予防対策を十分にとり開催した。

本会議2日目に行った一般質問も通常より10分短縮し、45分間とし、随時休憩をはさみ換気を行うなど対策をとった。

本会議第1日目は、

- ・承認案件 1件
 - ・条例の制定及び改正 3件
 - ・令和3年度補正予算 4件
- の合計8件が一括上程された。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、上程した議案等の詳細説明を提出者から受けた。

このうち一般会計の補正予算では、新型コロナウイルスワクチン3回目接種に向けた体制確保の不足額として76万9千円が計上された。この経費については全額国からの補助がなされるものである。

加えて急激な原油価格高騰に伴う生活支援として燃料購入商品券に係る費用として915万円計上された。

その他、保育園・小学校・中学校においてコロナ対策として必要な消耗品等として80万円が計上されるなど、長引くコロナ禍のなかで必要な経費も増大してきている。

また、コロナの影響で開催が出来なかった敬老会や月の里収穫祭、別荘交流会に加え公民館事業

などの減額も多く、コロナ禍の影響を色濃く反映する補正内容となった。

本会議2日目の7日には、一般質問を行い、7名の議員が村政の執行状況や今後の方針について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。

今回は10月からの議員にとっては初めての質問となり、若干の緊張も見られたものの、事業の進捗確認や提言など細かな部分にも質問が及んだ。

また高野村長にとっても任期中最後となる一般質問であり、3期12年の村営運営の振り返りを求める質問も3名の議員よりなされた。

本会議3日目である10日は、第1日目に上程した案件に加え、子育て世帯に対する臨時給付金を年内に支払うための経費の補正予算と、人権擁護委員の推薦に対し意見を求める諮問が追加上程され、審議・採決等を行い、すべての案件で全員賛成により原案のとおり可決した。

諸般の報告

○議員派遣結果報告

専決処分の承認

○一般会計補正

(第6号)

条例の制定・改正

○国民健康保険条例の一部改正

○国民健康保険税条例の一部改正

○移住定住促進住宅管理条例の一部改正

○下水道事業特別会計補正

その他

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(諮問)

令和3年度補正予算

○一般会計補正

(第6、8号)

○住宅団地分譲事業特別会計補正

(第2号)

○下水道事業特別会計補正

(第3号)

○水道事業特別会計補正 (第3号)

議員発議

○議会議員の派遣

閉会中
所掌事務調査

○議会の運営に関する事項 (議会運営委員会)

12月定例会 【議案等の審議結果】

*案件名称のうち、「麻績村」は省略します。

案件種別	議案番号	名 称	議員名と賛否						
			飯森茂孝	塚原利彦	宮下朗	茂木泰男	飯森寛志	宮川秀俊	清水清
議案	議案1号	麻績村国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案2号	麻績村国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案3号	麻績村移住定住促進住宅管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案4号	令和3年度 一般会計補正予算 (第7号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案5号	令和3年度 住宅団地分譲事業特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案6号	令和3年度 下水道事業特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案7号	令和3年度 水道事業特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案8号	令和3年度 一般会計補正予算 (第8号)	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認1号	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度 麻績村一般会計補正予算 第6号)	○	○	○	○	○	○	○
諮問	諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議1号	議会議員の派遣	○	○	○	○	○	○	○

一 般 質 問

質問事項

飯森 茂孝

- 通学路の安全確保の取り組みについて
- コロナ感染対策について
- 麻績村への移住相談会について
- マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)について

塚原 利彦

- 高齢者、生活困窮者に対する行政対応や福祉施策について
- 麻績村独自の教育方針について

宮下 朗

- 麻績村総合戦略・人口ビジョンについて
- 新型コロナウイルスの影響を受ける小規模事業者支援について

茂木 泰男

- 高野村政3期12年を振り返って
- 外来植物の繁茂拡大への対策は

飯森 寛志

- 森林山林整備管理について
- 気象非常事態宣言 2050ゼロカーボンについて

宮川 秀俊

- 災害発生時の対応方及び防災用品の整備について
- 若者定住促進住宅の入居者選考について
- 高野村政3期目を振り返って

清水 清

- 3期12年の高野村政を振り返って
- 新型コロナ対策
- 地域振興策としての「おみぼん」の活用
- 令和2年度決算審査 監査委員の意見書についての改善は

麻績村におけるマイナンバーカードの住民保有率と今後の推進計画は

マイナンバーカードの住民保有率は 11月1日現在25.7%である

問 国内では3人に1人が、マイナンバーカードを保有されていると言われている。ポイント付加によるテレビコマercialも盛んに行われているところだが、麻績村におけるマイナンバーカードの住民保有率と今後の推進計画について尋ねる。

答 マイナンバーカードの住民保有率と推進計画については、令和3年11月1日現在の交付率は、25.7%となっている。令和3年11月1日現在の人口26,688人に対して、交付枚数が6,877枚である。推進計画については明文化していないが、オンライン申請が難しい高齢者に対しては、皆様が集まる行事に職員が出向き手続の方法な



飯森 茂孝 議員



どを説明し、申請の支援を行う様になっている。若者世代については、成人式などのあらゆる機会をとらえて、国が作成した啓発資料を使いカード取得を促していきたい。また「ホット情報おみ」へも関連記事を掲載している。

問 4人に1人という状態の保有率であることと健康保険証としても利用できるメリットがあると言う事だが、麻績村としての最終的な目標値は何%ぐらいか。

答 村独自の目標ではないが、国からは令和5年3月31日までに全国民の取得を目指しているところであり、それに従って村も推進を進めてゆく考えである。

「麻績村独自の教育方針」のまとめや方針内容の公表は

館報等で報告しており、あらためて周知は行わない



塚原 利彦 議員

問 「麻績村独自の教育方針」の研究・検討が3部会に分かれて行われてきたが、すでに村単位の学校運営となつて1年9か月が過ぎた。最終的なまとめや村民への提示はどうなっているのか。

答 これは、まとめや提言を行う会議ではなく、関連会議への助言等を行うことで事業の推進に役立たせる事を目標に行ってきた。研究検討委員会は3部会を設けて、予算措置の必要なもの、必要のない改善等、個々の事業の洗い出しを行って、できることから実施してきており、各事業ごとにその内容の周知に向けて館報等で報告してきた。

問 方針としてまとめられ、冊子等になって公表されると思っている。その点をどう考えるか。

答 これまで個々の事業については、それぞれ報告してきている。例を挙げると、一貫教育については毎年度、保小・中の保護者に対してリーフレットを渡していること、小学校では4日間の中学校体験を、保育園では今年、小学校1日体験を行ったこと、生涯教育に関しても、村の文化財について各地区的協力もいただき勉強会を開いており、地域の皆さんにも理解がされていると考える。このように個々の事業について報告をしてきており、あらためての周知は考えていない。

問 再度確認するが、この「麻績村独自の教育方針」は、これまで行ってきた事をまとめ、新たな方針として公表したり、冊子化するようなものではないか。

答 そういう事である。

住宅リフォーム券導入の考えは

村内事業者と協議し検討する



宮下 朗 議員

問 今後の新型コロナウイルス感染症対策における、村内建築関係事業者の支援も兼ねた住宅リフォーム券導入の考えは。

答 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県内においても地域経済の活性化及び居住環境の向上を目的として、住宅などリフォーム工事に對して商品券を発行している。当村においては、村内の事業者にアンケート調査を行い、この調査を元に商工会と協議し影響の多い事業者に支援を実施した。今後は商工会と協議し、支援の必要なところに必要な支援施策を検討する。

問 近隣市町村におい

ては、コロナ以前より10%から20%程度の住宅リフォーム補助を実施している自治体が多いが、当村においては対象が高齢者と障害者に限定されている。現在麻績村では、本町の若者定住住宅、小東の移住定住促進住宅の建設等を行っているが既存住宅への定住促進も重要と考える。住宅リフォーム補助を全村民対象に常設化する考えは。

答 リフォームの関係で商品券を出したり、リフォーム券を出して助成をしている市町村があることは認識している。麻績村としてはそういったことをこれから検討し、その状況を把握する中で進めていく。



村長3期12年での記憶に残る事業や政策課題は

多くの事業を実施した。 道半ばの課題は新リーダーに期待する



茂木 泰男 議員

問 村長3期12年間で振り返り、記憶に残る事業や課題は。

答 就任当時から記憶をたどると大きな出来事が約70項目程ある。まずは明治期に築造された若沢川石積堰堤の保全ができ、これが国の登録有形文化財の指定を受けたこと。歴代4代の村長の懸案事項であった聖高原の大型廃屋施設の権利解消と解体が、6年の歳月を要し完了したこと。麻績小学校で独自の特別支援学級が教育委員会の努力により開設されたこと。天皇皇后両陛下の来村時にお食事にお招きいただき、両陛下の優しいお心に触れさせていただいたこと。若者住宅の整備に入居希望者が2倍以上に増

え、時代のニーズがつかめたこと。第二公民館の整備により地域のコミュニティ拠点ができ、今後テレワークセンターとして利用率の向上が期待できること。高畑野口線の整備で大型車両が入れる様になり、地域の安心安全が確保出来たことなどがある。残念な事は、筑北村との学校統合問題でお互いの住民の意見や考えが一致出来なかつたことである。課題としては今の事業が全て完成形ではなく道半ばの事業もあり、新リーダーにこの課題解決に全力で取り組んでくれることを期待している。

問 退任にあたり心境は。

答 退任まで40日余り、麻績村は無限の可能性を秘めており村民が一つになり発展していくことを期待している。

麻績村における森林山林の整備管理は

現在、森林経営管理制度の実施方針を作成している



飯森 寛志 議員

問 麻績村の森林経営管理制度の進捗状況は。

答 現時点においては、森林経営管理している森林はない。現在、当村における森林経営管理制度実施方針を作成しているところである。

問 聖山山麓にある7箇所の水源地への対応は。

答 水源地の多くが保安林の指定であり、県により村対応の森林経営制度には入らない場所のため、引き続き県の事業で実施していくよう村からお願いする形で進めていきたい。

問 森林経営管理制度を進めていく場合の障害は。

答 所有者不明の森林がある。土地台帳の所

有者に連絡がとれない。また、林地台帳で共有になっており共有者の一部不明、死亡、相続人が不明などで連絡が取れない、これについては追跡調査を行う。当村でも所有者、共有者不明森林が見えられており、事業実施において支障となっている。当村のような小規模な自治体では林業に関する専門知識、技術を持つ職員がおらず、林業担当職員が複数の職務を兼務しており、森林経営管理業務に専念できていない。事業実施に当たっては、初めは小エリアでモデル的に実施し、ノウハウを得ながら順次進めていく必要がある。



災害発生時の対応や防災用品の整備状況は

自助・共助・公助の連携体制が必要



宮川 秀俊 議員

問 被災箇所を想定した現場から、役場庁舎への情報伝達訓練は行われているか。

答 具体的な内容での訓練はできていない。防災行政無線活用と災害医療救護所の訓練は行っている。

問 情報通信手段として、自治体専用のビジネスチャットを導入・整備の考えは。

答 大規模災害になると電話がつながりにくくなることもあり、検討はしていくが、今は防災行政無線の更新・回線確保、映像送信可能な機種等コスト面も含め情報収集しながら機種選定をしているところだ。

問 大規模災害時のトイレ対策として「マンホールトイレ」を導入している自治体が県内では22市町村あるが、

緊急避難所に必要ではないか。

答 国交省から整備運用のためのガイドラインが出ている。大規模災害を想定し、以前、担当課と設置について協議した経過がある。村内は複雑な地形であり、下流域の管路ポンプなどの施設状況、水源等課題が多い。今後検討していきたい。

問 災害用備蓄品の非常食として高齢者、アレルギー症者用の備蓄状況は。

答 災害発生時における食料は、自分の命は自分で守るという防災の基本により、各家庭において3日から1週間分程度の備蓄が推奨されている。自助、地域で協力して食糧の確保をする共助、公的備蓄や協定による食糧確保の提供など複数の活動を連携して行う必要がある。アレルギー対応食については緊急時の混乱の中で管理が複雑となり、トラブル発生の要因となることも考えられる。全て行政で用意することは難しい。

3期12年の高野村政の自己評価は

点数をつけるとすれば5点評価で4点くらい



清水 清 議員

問 職員時代から麻績村の歴史的な大プロジェクト事業に関わり、長野自動車道開設に伴う用地交渉をはじめ、数え切れない難問解決に努められた事を身近で見てきた。その後、第6代村長に就任され、12年間村のトップリーダーとして手腕を振るわれた。その間の自己評価と、新村長に望む事は。

答 麻績村に一人でも多くの若者に住んで頂くための住環境、子育て教育環境の整備、高齢者の安心・安全のための福祉の充実としての福祉施設の対応、若い人達が興味を示す観光に対しての施設の整備を進めた。

歴史的遺産が多い村の中の文化・並びに文

化財の保存等にも力を注ぎ、また農業後継者も大きな問題であったため、法人化方向で一歩踏み出すことが出来た。

やり足りないところは、沢山あるが、12年間に点数をつけるとすれば5点評価で4点くらいかなと思っっている。それから新村長には、進めてきた事業は、最終地点にはいつていないので、継続・一部改善させ、更に発展していくよう望む。



議員紹介～

麻績村議会第18期議員の活動は令和3年10月より始まっていますが、9月の議会議員選挙が無投票であったことにより、それぞれの公約が掲載された「選挙公報」は発行されませんでした。そこで、今回議員活動に向けての抱負などを掲載し、議員の紹介とさせていただきます。

峯村 賢治 議員

17期の議員活動を振り返って、4年間に何ができたかを考えてみますと、

○放課後児童クラブへのエアコンの設置。
○けやき公園の改修整備。

○各区への発電機の配備。

○防災備蓄品の拡充。

○公債費(村債)の繰り上げ返済。

○たい肥化施設の経費の縮減。

これらは幾度もの一般質問において、村民の皆さんの声や、行政を精査する中で、村と問題点を共有し実施できた主なものです。

18期も、皆さんの声に耳を傾け、安心安全で暮らしやすい村づくりの一助となるべく尽力いたします。

茂木 泰男 議員

一期4年間の議員活動を務め行政の役割、責任の重さを感じる中で、議員として村民のどんな小さなことにも耳を傾け声を届ける事を重点的に活動して村づくりに反映してきました。今後四年間の議員活動の中で、村民に對してこどもや高齢者や障害者にやさしい福祉の充実、人口減少對

策、災害對策、子育て支援等について村政に對して提言し、麻績に住んで良かったと言われる住民参加の村づくりの推進に力をいれたいと考えています。又健全な財政運営又魅力ある村づくりに努力します。

飯森 茂孝 議員

私は、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指して住民と協働の村づくりに全力を尽くす決意です。

特に福祉企業センターと山ぼうし作業所の早期建設、子育て支援策として保育施設を利用する子育て世帯の経済的負担を軽減するための副食費の無料化。筑北地域全体の公共交通の充実。教育の質を向上し、子供たちが誇りを持てる村づくりをめざします。

塚原 利彦 議員

2年にも及ぶコロナ禍により、多くの方が我慢と苦しみを強いられました。いのち優先の政治があらためて求められています。暮らし・福祉・子育てを第一に、村民の皆さんの声を聴き議会に届けるため全力を尽くします。〈対応が急がれる大きな課題〉

○学校統合の協議(特に中学校)を早急に進めること。

○若者定住に向けた具体的施策の策定。

○要望が多く、力を入れない課題

○通勤、通学への支援

○公共交通の改善充実

○保育園、小中学校の給食費無料化

○加齢性難聴者への補聴器購入費補助

○働き場所、雇用對策に繋がる地域振興

宮下 朗 議員

『小さくともキラリと輝く明るい村を目指して』

少子高齢化が急速に進み、人口が2600人を割り込み、麻績村も大変厳しい時代に入りました。しかし、この村が好き、住みたい、ここで子どもを育てたい!そんな村づくりを目指したいと思えます。そのため私がこれから取り組むことは次のことです。

*安心・安全な村づくり(地域ネットワークの強化)

*教育力の向上(ITの活用・地域との連携)

*コロナに負けない村づくり(経済との両立)

*空き家・空き店舗の活用(移住・起業の促進)

*地場産業の活性化

(農工商連携の新しい形)



これからの議員活動に向けて

～麻績村議会第18期

＊遊休農地の活用（新規就農者の促進）

＊自然・歴史遺産の保護継承（後世に繋ぐ）

これらの施策を進める中で村民の皆様との対話を通して「小さくともキラリと光る明るい村」を目指して鋭意努力していく所存です。で、4年間よろしくお願いたします。

飯森 寛志 議員

安心、安全で楽しく生活できる麻績村を目指します。

・荒廃していく村内・隣接地の森林山林の整備管理を実施します。

森林山林管理は管理責任者（村・民間）設定し、野生鳥獣（イノシシ・鹿・熊）対策は猟友会と連携し狩猟、駆除実施しながら適正頭数を目指していきます。

・中山間地・荒廃地の再生と活用を進めていきます。

登記台帳は現状を維持とし、畑を利用しやすく集積・集約し整備していきます。

・少子化対策として、若者への移住定住の促進を進めていきます。

利用可能な現空き

家の登録、整備、管理、税制低減等を実施、適用して、移住・定住希望者が利用しやすくしていきます。

・筑北村との交流による、新規事業を取り組んでいきます。

宮川 秀俊 議員

昨年、任期を迎えた東筑北部3村の議会議員選挙で無投票となったのは、麻績村のみでした。地方議員のなり手不足解消のためには、身近な村政への関心度をいかに高めていくか、立候補しやすい環境の醸成が重要であると思っています。

私は2期目の目指すべきこととして、

①議会基本条例の制定
議会改革、議会活性化のために報告会、意見交換会の実施。

②男女共同参画条例の制定
各種審議会委員の構成を見直し、現在の計画からステップアップを図り、家庭での役割分担、社会参加を促していく。

③高齢者に優しいデマンドタクシーの導入、高齢化、免許返納による移動手段の確保。

④インター周辺へ企業誘致
若年者の流出を防止、働き場の確保。

⑤中学校の早期統合
児童生徒数の減少により教育環境を整備。

⑥松本山雅FCのホームタウンを目指し地域の活性化につなげる。

清水 清 議員

村民が主人公の村づくり
村民益を求めて私の決意
◆人口減少の歯止めにかけて

現在麻績村の人口は約2,600人。20年後の人口統計では1,700人と予想されており、喫緊の大きな課題であり子育て世代が住みたくならない対策に取組みたい。

◆3つの支援の充実
（人に投資）

・子育て支援 子育てをする親の支援であり抱える悩みなどの相談システム等の充実
・障がい者支援 社会参加しやすい環境

整備
・高齢者支援 健康寿命の延伸、介護施設の利用

◆村内道路網の整備
・国道403号下井堀西く中島橋

・道路改良（坂北村境）
・国道403号本町く聖高原

◆道路改良工事
◆教育問題 少子化による今後の教育体制の危機管理

◆観光・地域振興事業
◆農業（荒廃地対策・鳥獣対策）

◆林業（松枯対策）
安心・安全な住みよい村づくりに努力いたします。

編集委員

飯森 茂孝
塚原 利彦
宮下 朗
茂木 泰男